

学校評価 自己評価（平成 28 年 4 月）

みなみ幼稚園

1、本園の教育目標

- 丈夫な子供
- 仲良く遊べる子供
- 考える子供
- やさしい子供
- 約束を守れる子供

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに答える必要があるか、具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内外の研修を充実させる。	幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由闊達に意見が開示できる環境をつくっている。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、保護者の要望や意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。
発達障害をもつ幼児の保育の対応。	保護者との話し合いをし、理解を深め外部の各機関と連携し日常の保育にいかし、進学する小学校とも情報交換を行っている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれに自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応の訓練を実施し、施設面での改善と、教職員の意識向上につとめたい。
特別支援教育（発達障害等）	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関や進学する小学校との連携を密にするよう検討したい。
園に対する保護者の満足度の把握	本園の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。